静岡県信連について

1．静岡県信連の概要

（平成29年9月30日現在）

- 設　　立：昭和２３年８月
- 住　　所：静岡市駿河区曲金三丁目８番１号
- 会 員 数 ：５１会員（正会員３１会員／准会員２０会員）
- 出 資 金 ：１，１１３億円
- 役 員 数 ：経営管理委員１６名／理事５名／監事４名
- 職 員 数 ：２７４名（男子１７１名／女子１０３名）
- 店舗体制：本店／富士営業部／浜松支店

2．経営方針

経営方針

当会は、“農業金融を協同の精神で支援する県単位の連合組織金融機関”であるとともに、“地域社会と地域経済に密着した金融機関”として会員・お客様の期待と信頼にこたえることを使命とします。

理　念

- 連合組織金融機関として調和を大切に効率的な組織機能を発揮します。
- 創造性ある金融サービスをとおして地域社会と夢のあるつながりを目指します。
- 社会的責任を自覚した健全経営を行います。

3．静岡県信連グループ中期経営計画

当会では、農業者・利用者・地域に選ばれ、成長し続けるＪＡバンク静岡の実現に向け、「静岡県信連グループ中期経営計画（平成２９～３１年度）」における「農業所得増大・地域活性化への全力投球」、「ＪＡバンク静岡の発展に資する更なる機能発揮」を使命と位置付け取り組んでいます。

4．ＪＡバンク自己改革の取組み

農業を取り巻く状況は厳しさを増すなか、政府の「農協改革」の動き等を踏まえ、JA グループは、平成26年に自らの改革として「JA グループ自己改革」を策定しました。JAバンクも、JA グループの一員としてこれまで以上に農業・地域に貢献していくため、信用事業の取組みを「JA バンク自己改革」としてとりまとめ、実践しております。

当会におきましても、JA バンク静岡アグリサポートプログラムをはじめとした農業者支援や、JA らしい金融サービスの提供等を通じ、農業・地域経済の発展に貢献していきます。

全国施策

JAバンク自己改革“3本の柱”

1. 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
   - 農業所得増大・地域活性化応援プログラム
2. JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備
3. 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献

事業規模2兆円、事業費1,000億円

1. グローバルな食市場獲得応援・国産農畜産物の輸出促進 等
2. 農畜産物の付加価値向上応援・6次産業化等付加価値向上 等
3. 担い手の規模拡大等効率化応援・生産コスト低減事業 等
4. 地域活性化等応援・利子補給、新規就農支援 等

連携

商社・物流／食品企業／リース会社／大手銀行／商工会／農業関係団体／政策金融機関／政府外郭団体 等

信連による県域施策

① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応

JAバンク静岡アグリサポートプログラム

項目	施策
金融支援	①保証料助成　②担い手農業者への融資サポート
担い手育成支援	③親元就農者育成支援　④農業高校・農林大学校等への担い手育成支援
生産効率化・拡大支援	⑤農業振興支援 ⑥柑橘果樹経営体応援事業
コンサルティング支援	⑦マーケティング支援

② JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備

信用事業合理化策等の対応

項目	対応方向
Ⅰ.OTM導入による事務合理化	静岡県内の全信用事業店舗へOTM導入。
Ⅱ.信用事業代理店	JAの信用事業運営について、信連が信用事業のリスク・負担軽減に取組み、JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備を検討。

③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献

●ATMの機能拡充
静岡県内の全ATMへ通帳発行機能装備（ATM更新時に装備を必須）

●移動店舗車の導入
山間部等への金融サービス提供、地域貢献及び災害時の臨時的な店舗として、移動店舗車の配備を検討。

●国産農畜産物の消費拡大に資する金融商品の企画・販売
地域の農畜産物・加工品を懸賞品とした定期貯金の販売（食の王国しずおかプレゼントキャンペーン）等

●農村・地域の基盤維持に資する金融サービスの提供・地域貢献
子育て世代向けメニュー

カテゴリー	具体的内容
金融商品・サービス	子育て支援定期積金（「すくすく」「すくすくプラス」）、教育資金贈与専用口座、結婚・子育て資金贈与専用口座 他
情報発信・イベント・地域貢献	JAバンク食農教育活動助成事業（料理教室・農業体験等）、食農教育教材本提供、子育て世代会員組織、スマートフォン向けアプリ「paJAma」による各種情報発信 他